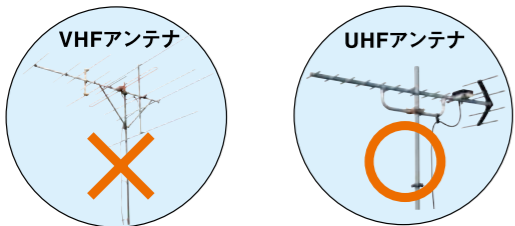


地デジの大切なお知らせです



VHF アンテナで  
テレビをご覧のみなさまへ

地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要で、VHF アンテナは工事が必要となります。  
※ケーブルテレビに加入する場合は、アンテナを個別に設置する必要はありません。



NHK 徳島・四国放送の地上デジタル放送は、県内のほとんどの地域で、UHF アンテナ設置や調整で受信できます。UHF アンテナの設置・調整についてはお近くの電器店にご相談ください。

7月24日でアナログ放送は終了します。  
地デジのご準備をお急ぎください！

お問い合わせ先

総務省 徳島県テレビ受信者支援センター  
(デジサポ徳島 ☎ 088-603-0200)

近畿在住の市出身者らが交流



近畿圏在住の三好市出身者で作る5つのふるさと会で構成する「近畿三好ふるさと会連合会」の第3回総会が、6月18日、大阪市内のホテルで開催され74人が親睦を深めました。

23年度事業計画では、11月5日～6日に三野町をめぐるふるさと探訪交流会が計画されており、地元から駆けつけた受入団体の代表が準備状況を説明し「ぜひ参加してほしい」と呼びかけました。

懇親交流会は、マジックショー、歌謡ショー、ふるさと特産品が当たる抽選会などのアトラクションで盛り上がりました。

交流拠点施設整備基本計画  
住民説明会 概要

開催地区 開催日程	参加 人数	発言 人数	発言 件数
東祖谷地区 5月20日	19人	4人	9件
西祖谷地区 5月23日	19人	6人	15件
山城地区 5月24日	41人	12人	28件
三野地区 5月26日	29人	4人	14件
井川地区 5月27日	40人	4人	10件
池田地区 5月30日	101人	7人	25件
延べ6日間	249人	37人	101件

説明会会場では、文化意識や文化水準の向上、住民が参加する活発な施設運営、施設整備がもたらす相乗効果を期待する声がある一方、土地に対する不安や施設の整備と運営経費が財政に与える影響についての懸念の声も出されました。

以上のようなご意見に対しては、三好市の財政状況や、本基本計画による施設整備を含めた財政計画であること、本基本計画は、これまでの経過を踏まえて、様々な意見と検討、協議に基づく計画書であること、さらには今後とも市民の皆様を理解をいたしながら計画を進めていくことについて説明しました。

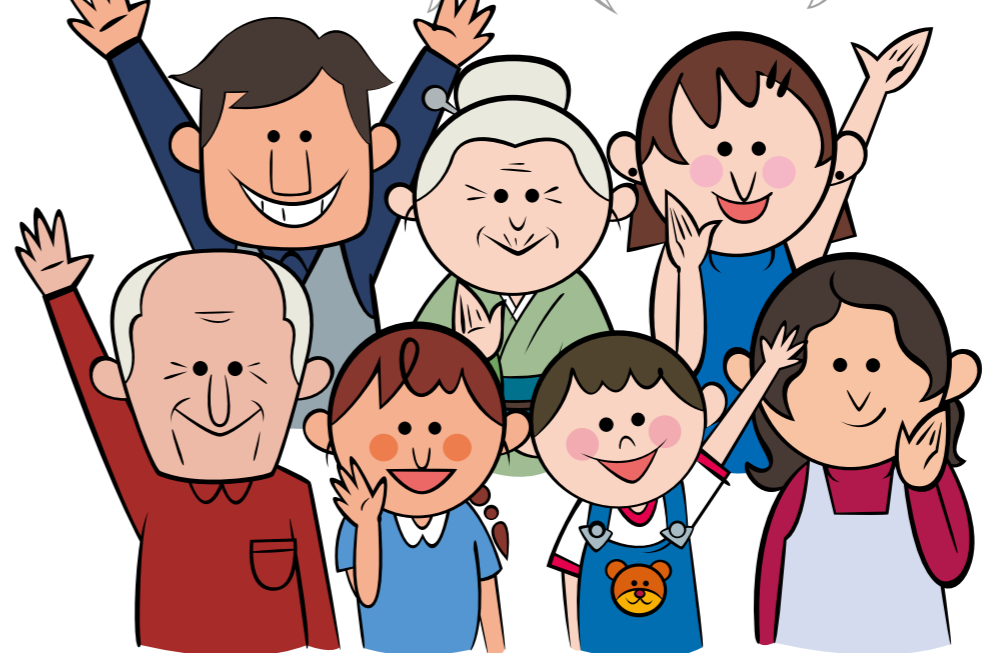
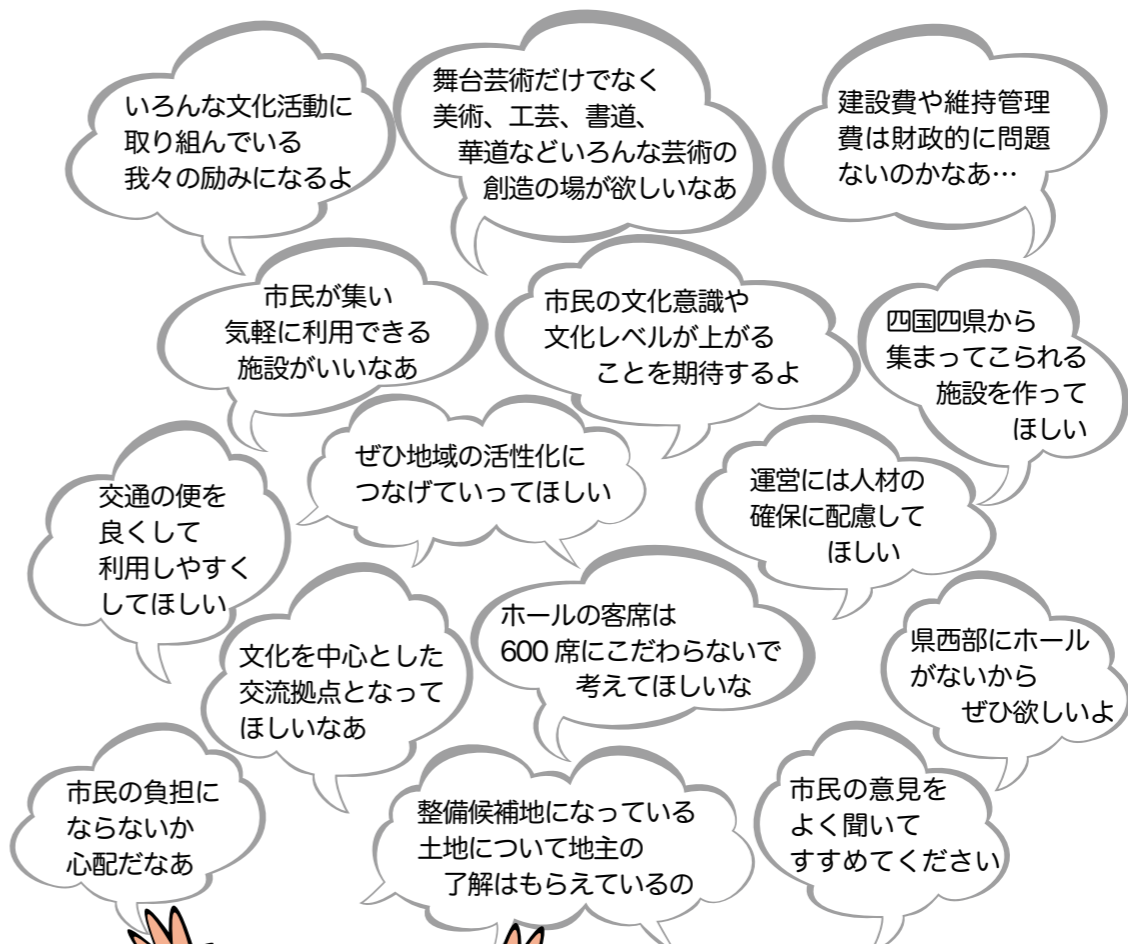
基本計画書は、三好市ホームページに掲載しております。市役所本庁2階文化交流推進室の窓口でも閲覧できます。市報みよしの来月号には、基本計画の概要について掲載を予定しております。ご理解とご協力をお願いいたします。

このたび三好市では、文化芸術の振興や様々な交流の核を担う施設整備にかかる「交流拠点施設整備基本計画」を策定し、5月20日から30日までの間、市内6か所において住民説明会を開催しました。

説明会では、担当より「交流拠点施設整備基本計画」と「三好市の財政状況」について説明し、その後質疑応答を行いました。

参加状況などの概要につきましても別表のとおりですが、のべ250人近い市民の皆様に参加いただき、37人の方々から100件を超える意見と要望をいただきました。

その内容について、主なものを紹介いたします。



三好市交流拠点施設整備基本計画の  
住民説明会を開催しました

「心ときめく文化・交流の広場」の実現をめざして

お問い合わせ先  
三好市企画調整課文化交流推進室  
(電話 72-7633)

## まちづくり条例住民説明会 開催報告



西岡委員 (東祖谷地区)

三好市まちづくり条例を考  
える市民委員会から、これま  
で市内6地区で開催してきた  
「市民の意見を聞く会」での  
意見も踏まえて、まちづくり  
の基本方針や条例に盛り込む  
べき事項など、市民委員会  
の検討結果をまとめた報告書  
が市長に提出されました。  
市ではこの報告書をもとに、  
具体的な条文の検討に入る予  
定ですが、その前に市民委員  
会で提案された内容について、  
市民への説明と意見交換の場  
を設けることとしました。  
6月16日(木)は東祖谷地  
区において市民委員の西岡委  
員から、6月17日(金)は西  
祖谷地区において市民委員の  
杉本委員からそれぞれ議論の  
経過や報告書の概要について

説明したあと、企画財政部長  
など市担当者も交えて、意見  
交換を行いました。

参加者からは次のような質  
問があり、それぞれ説明しま  
した。

**Q1** 協働の仕組みの中で  
「行政は自治会などの  
地域団体を育成し、その活動  
を支援する」、「行政はまちづ  
くりの担い手や市民活動団体  
の育成に努めなければならな  
い」という項目について、具  
体的な支援をどう行っていく  
のか。

**A1** まちづくり条例では、  
細かな支援内容まで盛  
り込むことはできませんが、  
条例に定めることによって市  
に対して施策の推進を求める  
ことができます。また必要に  
応じて、別の条例を制定する  
など、まちづくり条例を実効  
性のあるものにしていくこと  
が必要です。まちづくり条例  
を制定して終わりではなく、  
市民が条例の内容に関心を持  
ち、よりよいまちづくりを進

めるために、どんどん活用し  
ていくことが大切になってき  
ます。

**Q2** 高齢者に関する項目が  
見られないので、盛り  
込んで欲しい。

**A2** 議論されなかった項目  
であり、今後の審議会  
において議論を進めたいと思  
います。

**Q3** 「定住できる環境づく  
り」という項目が掲げ  
られているが、具体策を条例  
に書くのか。

**A3** まちづくり条例に具体  
策を書き込むことはで  
きませんが、「定住できる環  
境づくり」を条例に盛り込ん  
でおけば、行政は定住できる



杉本委員 (西祖谷地区)

環境づくりを念頭に置いて事  
業を進めることが必要となっ  
てきて、具体策については必  
要に応じて別に条例を定め  
たり、計画を定めたりするこ  
とになってきます。

今回の東祖谷地区・西祖谷  
地区説明会を皮切りに、市内  
6地区で住民説明会を開催し  
ていきます。第3回以降の説  
明会の様子については、シ  
リーズ第9弾で報告させても  
らいいます。

お問い合わせ先  
**三好市 企画調整課**  
電話 72-7607・ファックス 72-7202  
kikakuchousei@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

地域を元気にしよう!

# 「地域おこし協力隊」「集落支援員」が活動開始

三好市が4月より募集を  
していった「地域おこし  
協力隊」と「集落支援員」が、  
7月1日より活動を開始し  
ました。どちらも地域力の維  
持・強化に有効な事業で、総  
務省より財政支援が受けら  
れることで市の負担がほと  
んどなく、すでに多くの地方  
自治体を取り組んでいます。

### 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、人  
口減少や高齢化などの進行  
が著しい地方において、地域

外の人材を積極的に誘致し、  
その定住・定着を図ること  
で、地域力の維持・強化を  
図っていくことを目的とす  
る取り組みです。

全国から14名の応募があ  
り、そのなかから三好市を元  
気にしようとする熱意や、地  
域に溶け込み、力を与えてく  
れそうな6名の方が任命さ  
れました(うち1人は都合に  
より8月より活動)。隊員は  
都市部で活躍してきた、各方  
面のプロたちで、外からの視  
線で発想をいただき、新  
しいことにチャレンジして

もらいます。きっと三好市を  
元気にしてくれるはずです。

### 集落支援員

集落支援員は、地域や集落  
の実情・課題を調査・把握し、  
地域活力の維持、活性化対策  
などを推進します。

6名が任命され、各総合支  
所および本庁に1人ずつ配置  
されます。具体的な活動内容  
は、集落支援包括事業の周知  
や取り次ぎ、集落の巡回・状  
況把握、地域団体等との協議  
や話し合いの場づくり、市民と  
行政との連絡調整、空き家調  
査、移住支援などを行います。

地域おこし協力隊と集落支  
援員、そして私たち地域住民  
が力を合わせ、地域を元気に  
していきましょう。各メン  
バーの紹介や、詳しい取り組  
みなどは来月号にてお知らせ  
します。

### お問い合わせ先

三好市地域振興課  
電話 72-7649



### 【地域おこし協力隊】

右から▷氏名(前住所)  
下川 徹(東京都〈三好市出身〉)  
藪下 敬太(京都府)  
上條 由紀子(東京都)  
渡邊 聡(大阪府)  
茂泉 賢弥(静岡県)

### 【集落支援員】

右から▷氏名(担当地域)  
三好 崇夫(井川地区)  
中山 守一(西祖谷地区)  
日浦 孝夫(池田地区)  
胡麻 忠義(山城地区)  
小西 文夫(東祖谷地区)  
井添 榮一(三野地区)

